

## 消 防士体験で思い出づくり

夏休み1日消防士体験

8月5日、消防署で「夏休み1日消防士体験」が行われました。今年には60人が参加し、消防隊員の説明を受けながら間近で消防車両や救急車を見学したり、放水訓練をしたりしました。1本の張られたロープにぶら下がりながら進むレスキュー体験では、子供たちがバランスを保ちながら慎重に進んでいき、無事渡り切ると周りから歓声が上がりました。普段できない貴重な体験は、夏の良い思い出となったに違いありません。



みんなでラジオ&ながちか体操会

## ラ ジオ体操とながちか体操で健康増進

7月31日、総合公園市民広場で、「みんなでラジオ&ながちか体操会」が開催されました。

これは、身体機能の向上と健康増進を目的に今回初めて実施されたもの。ながちか体操の制作・普及に携わっている健康運動指導士やNPO法人全国ラジオ体操連盟公認指導者が正しい体操について実技指導を行いました。

早朝から集まった約600人の参加者は、朝のすがすがしい空気の中、気持ちよく体を動かしている様子でした。



夏休み伝統文化体験教室

## 個 性豊かなアート書道を体験

8月2日から5日にかけて中央公民館和室で夏休み伝統文化体験教室が開催されました。

3日には彩irodori書家美蓮さんによるアート書道体験が行われ、小学3年生から6年生までの25人が参加。筆や割り箸などを使って線の書き方を練習した後、はがきサイズのアート書道に挑戦しました。色筆ペンやパステル、和紙などを使って個性豊かな作品を作り上げた参加者は、手書き文字の面白さや自由に表現することの楽しさを知ることができたようです。



子ども大学ぎょうだ

## ゼ リーフライづくりに挑戦!

7月9日から今年度の講義がスタートした子ども大学ぎょうだ。3回目の学習プログラムとなる7月30日は、VIVAぎょうだ調理室で子供たちがゼリーフライづくりに挑戦しました。

地域を知り郷土愛を育てる「ふるさと学」の一環として行われたこの授業では、行田フライ・ゼリーフライ友の会会長の飯嶋隆夫さんが指導に当たりました。子供たちは材料を混ぜ合わせるのに苦労していましたが、形を整える工程では小判型や星型、ハート型などにして楽しそうに取り組んでいました。

揚げたてのゼリーフライを食べた子供たちからは笑顔がこぼれ、この講義を通じて郷土の味を堪能できたようでした。



平成28年度三市中学生交流事業

## 三 市の中学生がいじめ問題で意見交換

8月3日～5日の3日間、平成28年度三市中学生交流事業が実施され、白河市・桑名市の中学生計13人が行田市を訪れました。行田市の8人の代表生徒とともに、市内の観光スポットの他、長静を訪れ、交流を深めました。

また、8月4日には、古代蓮会館工作室で三市の中学生53人による、いじめ問題を考える三市中学生フォーラムが開催されました。8班に分かれてワークショップを行い、自校のいじめ問題の課題やいじめを生まないための取り組みについて、具体的に有意義な意見が交わされました。



ステップアップ普通救命講習

## い ざというときに備えて

7月29日、市内の中学3年生を対象としたステップアップ普通救命講習が行田グリーンアリーナで開催されました。

この講習は昨年度救命入門コースを受講した生徒のうち希望者を対象にして初めて実施されたもの。参加した27人の生徒は、救急救命士や応急手当普及員の指導の下、人形を使い、人工呼吸や心肺蘇生法、AEDの使い方を学びました。参加者は、いざという時に行動できるよう真剣な表情で講習に取り組んでいました。



行田市PTA連合会学習講演会

## 人 生を楽しむヒント

7月24日、「みらい」文化ホールで行田市PTA連合会学習講演会が開催され、ピーター・フランクルさんが「人生を楽しむ方法」と題した講演を行いました。

数学者や大道芸人として知られるピーターさんは、ジャグリングをしながら軽快に登場。講演では、数学の問題や大道芸を織り交ぜ、会場を大いに沸かせました。ピーターさんの「一人一人が人生の主人公。人生が楽しくなるかどうかは、自分の努力次第」という言葉から、来場者は人生を楽しむためのヒントを得ることができたようです。

